

「建築と社会」8月号表紙  
 ■作品タイトル「夜景」  
 ■作者 清水建設株式会社  
 ■使用ハード グラフィカ  
 ■使用ソフトウェア ARTS  
 (グラフィカ) ■計画建物の、  
 日中だけでなく夜の表情も表  
 現し、景観をシミュレーショ  
 ンした一例。ドーム状の屋根、  
 レンガ壁およびRC打放しの  
 柱、梁で構成されたファサ  
 ドを、室内の照明および外  
 からのスポットライトで浮か  
 びあがらせ、光による計画建  
 物の夜景を表現してみた。

8 通巻 797

会告

■特集予告

- 9月号/超高層住宅
- 10月号/集合住宅のリフレッシュ  
大阪府営繕
- 11月号/第35回青年技術者  
800号記念号
- 12月号/夢をのせる輸送設備

- 会長 佐野正一  
 副会長 足立孝・市川宏  
 松村雄二・栗袋公明  
 編集委員会(昭和63年度)  
 ■編集理事  
 金井弘次 石河信治  
 金多 潔 石野幸義  
 小島 雄 遠藤進  
 城 惠一 梶井宏修  
 須賀好富 河津隆之  
 竹中 鍊一 佐藤秀彦  
 長谷部明郎 別所清  
 松村慶三 村上幸三郎  
 若山 繁 大木利典  
 渡辺 忠 志 田添史  
 ■編集顧問 李光東  
 ■編集委員長 長谷部明郎  
 代任 上田信也  
 ■編集委員  
 ☆計画系分科会  
 ☆計画系  
 角島健二 河端秀直  
 小浦久子 鈴木克彦  
 高田住子 田中直人  
 平岡博 吉村英祐  
 ☆建築計画系  
 江副敏史 加藤晃規  
 北村潤 嶋田聖二  
 庄野利博 西川純一  
 前川治彦 牧野由美子  
 三宅淳 森田晴美  
 山中恵子 山本匡  
 ☆インテリア系  
 石倉健彦 加藤力  
 神谷剛 北浦かほる  
 北山喜与 駒田哲男  
 ☆構造分科会  
 和泉一義 清孝好  
 辻岡静雄 福山国夫  
 外園隆 和田勉  
 ☆設備分科会  
 ○印 副委員長と幹事  
 \*印 同代行

作品作風

Gallery

会員の声

being

スケッチブック

大先輩に聞く

若い会員の集いレポート

Information

書評

私が読んだ本

研究レポート

新建材紹介コーナー

法令コーナー

GBRCニュース

建築の眼

特集

まえがき

制振・防振の諸相

制振技術の動向

資料

新刊紹介

設備の頁163

施工材料の頁161

構造の頁160

Information

月報

バックナンバー目次

特集●制振

SPECIAL FEATURE ON THE VIBRATION CONTROL

京都府公館・京都府立府民ホール見学会、話題建築を聞く第3回オーク江坂ビル—三谷幸司氏、中澤勝司氏に聞く—(再掲)、滋賀方面1泊見学会・琵琶湖畔に歴史とロマンを求めて—建築の見学と懇親の集い、————— 1

兵庫県立弓道場————— 設計監理：兵庫県都市住宅部営繕課 施工：明石土建工業 — 4

京都プライトンホテル————— 設計監理：日建設計 施工：熊谷組 — 6

日光自動車学校—La Rotonda— ————— 8

光の絵画スマ・ブライトアートによる絵画空間の創造/土屋壽満 ————— 10

川端嘉人—KAWARAMACHI STREET NO OMOSA PLAN 2/北村恭一 ————— 11

最近竣工した新建築18点(No.2161~2178) ————— 12

小西岬(小西設計会長)/吉本安邦 ————— 14

「建築工芸と空間」展—作野旦平の創意によるステンドグラス/モザイク/アフレスコ/和田英子 ————— 16

現代建築と伝統芸術『アガタモザイクの仕事』、『エントランス・プロジェクト』—大阪芸術大学学園祭で企画、『生活者のデザイン展』に生活者としての提案募集、『A/E/C SYSTEMS JAPAN '88』展開催—SOMやレンゾ・ピアノを招聘して、「第4回国際デザイン・コンペティション」作品募集—今回は「火」をテーマに— ————— 17

都心にせまる—「町なかるネサンス—職・住・遊の都心再生論」(田端修)—/太田隆信、説得力のある住環境デザイン・ガイドライン—「居心地のよい集合住宅—子どものための住環境デザイン・ガイドライン」(湯川利和・延藤安弘共訳)/竹山清明 ————— 18

建築表現と文章表現の間—「西澤文隆の仕事1、2、3」の編集にふれて/山崎泰孝 ————— 19

市街地内の大規模公営住宅団地の再生を目指して(続)/大阪府建築部住宅建設課 ————— 20

防蝕シート「ガードフロン」/伯耆紳 ————— 23

尿浄化槽の処理対象人員算定基準(JIS A 3302-1988)/立成良三 ————— 24

建築技術安全審査委員会について ————— 25

精霊流/舟橋國男、そして大阪—2./巽耕一、  
 素直/三宗司郎、数寄屋について/上出秀雄、 ————— 26

制振 —————

制振・免震・制震 ————— 井上 豊 — 28

煙突等の制振 ————— 松本 竹二 — 34

設備機器の防振装置 ————— 畑 輝 — 36

精密機器設置施設の防振—軟弱地盤における研究施設—  
 ————— 内田直樹/多賀謙蔵 — 38

機械振動に対する防振 ————— 寺村 彰 — 39

大スパン床の防振(1)—プレビームを使用した建物—  
 ————— 金野千代美/樋口雅善 — 40

大スパン床の防振(2)—太陽神戸銀行神戸本部ビル— ————— 辻 英一 — 42

日建設計の制振技術 ————— 寺本隆幸/北村春幸 — 43

住友建設の制震技術 ————— 有馬 文昭 — 45

竹中工務店の制振技術 ————— 木下 勝弘 — 48

大林組の制振技術 ————— 武田寿一/寺村 彰 — 50

清水建設の制振技術 ————— 横田 治彦 — 52

免震建築物建築センター評定物件リスト—(まとめ:編集委員・福山国夫)— — 54

プロのノウハウ「ゼロ災への道—建設現場の安全管理活動」(表一郎)/山田修 ————— 57

AI群管理エレベーター/加藤芳博 ————— 59

曲面を有する建物の墨出しのためのテクノロジー/松瀬慶夫 ————— 61

現場溶接の管理ポイント/丸岡義臣 ————— 62

国際海郷都市'89シーサイドももち住宅環境展、CCDO中部デザイン団体協議会発足、建築  
 物防災週間、 ————— 63

日本建築協会月間の動き(昭和63年6月分) ————— 65

「建築と社会」大正10年9月~大正13年6月 ————— 71

印刷 昭和63年8月20日  
 発行 昭和63年8月25日  
 発行人 社団法人日本建築協会  
 社団法人日本建築協会  
 大阪市北区梅田1-3-2100  
 電 06-348-0635  
 振替口座 大阪1-39975  
 印刷所 日本写植印刷株式会社  
 電 06-606-1111(代)  
 大信印刷株式会社  
 電 06-451-7631  
 青葉印刷株式会社  
 電 06-351-5428(代)  
 定 価 950円(送料共)